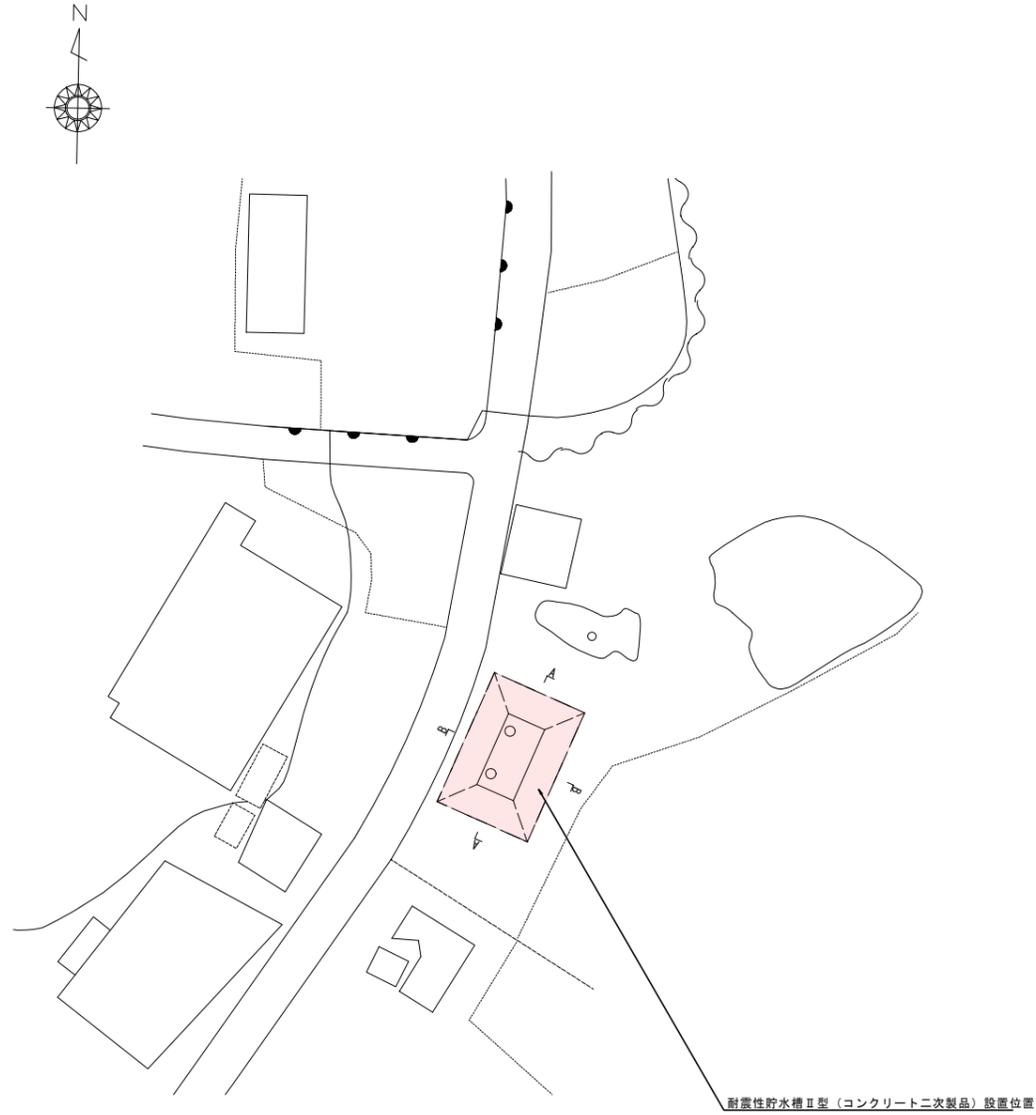
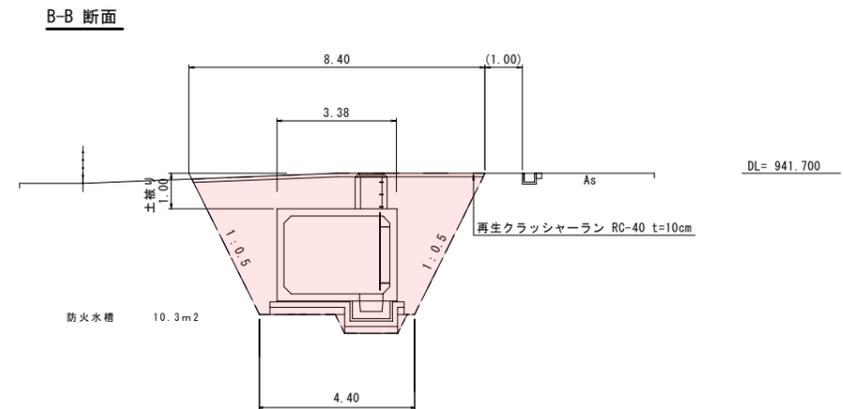
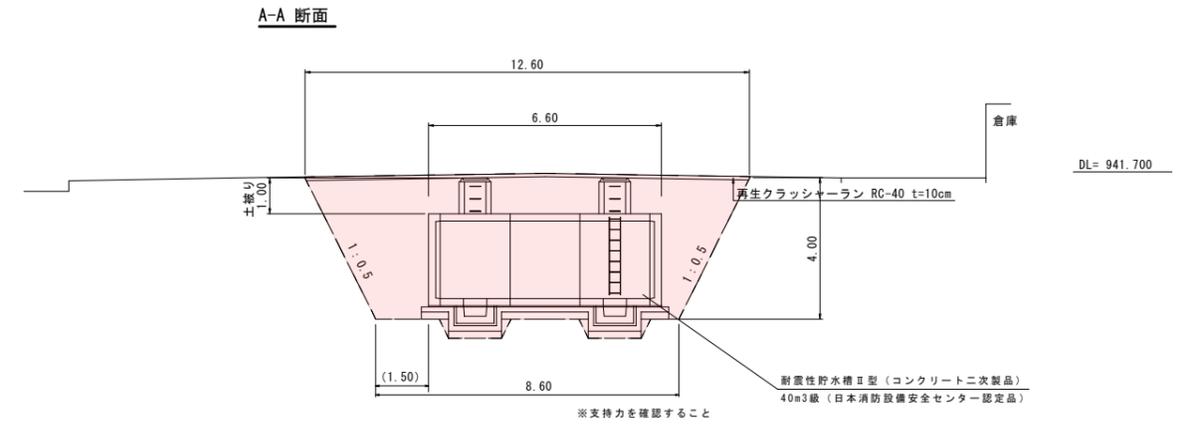


平面図 縮尺 1:300



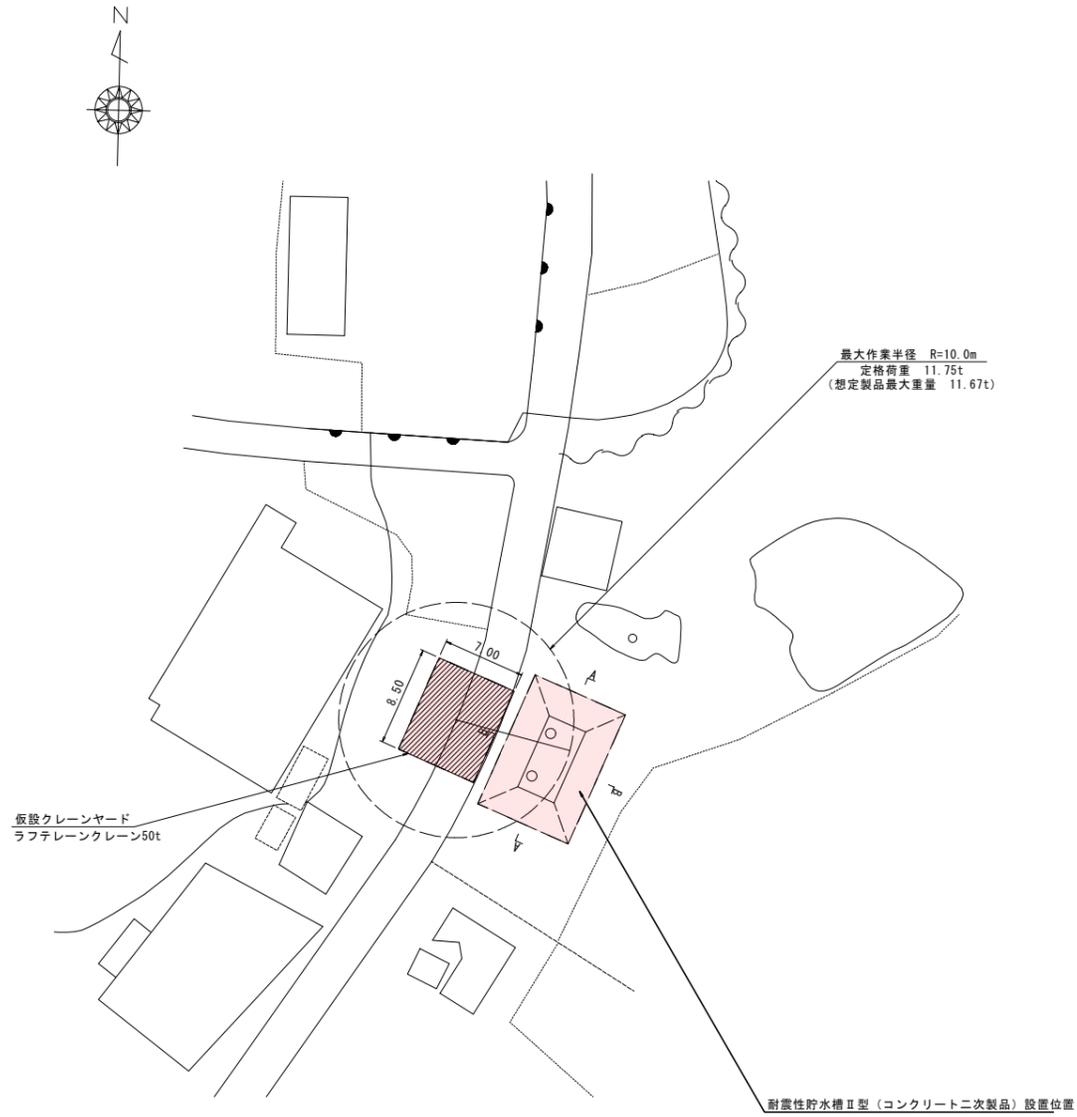
横断図 縮尺 1:100



令和7年度 小野藤沢耐震性貯水槽新設工事			
番号	1/3	平面図 横断図	縮尺 図示
小野藤沢 辰野町			
町長	課長	照査	設計
辰野町役場			
設計会社		管理技術者	
測量会社		照査技術者	
調査会社		主任技術者	
		主任技術者	

仮設平面図（参考図）

縮尺 1:300



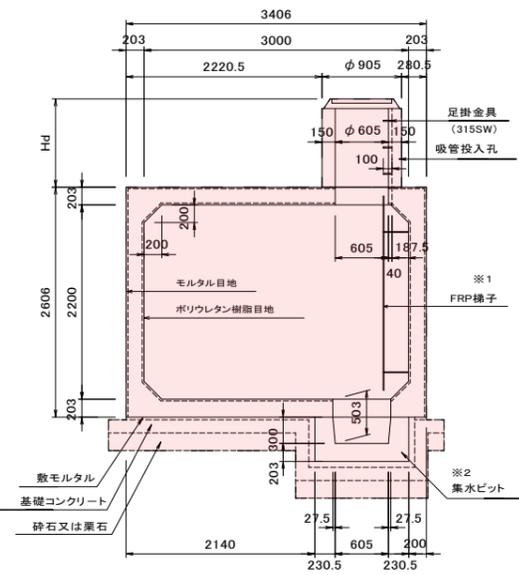
令和7年度 小野藤沢耐震性貯水槽新設工事			
番号	3/3	仮設図（参考図）	縮尺 図示
小野藤沢 辰野町			
町長	課長	照査	設計
辰野町役場			
設計会社		管理技術者	
測量会社		照査技術者	
調査会社		主任技術者	
		主任技術者	

注1 吸管投入孔・ピットの位置及び数量は変更可能。但し、最大2ヶ所とする。
 ※1 FRP梯子は、オプション取り付けとし、最大2ヶ所まで取り付けができる。
 ※2 集水ピットには、h=100又はh=300のどちらかのブロックを使用する。

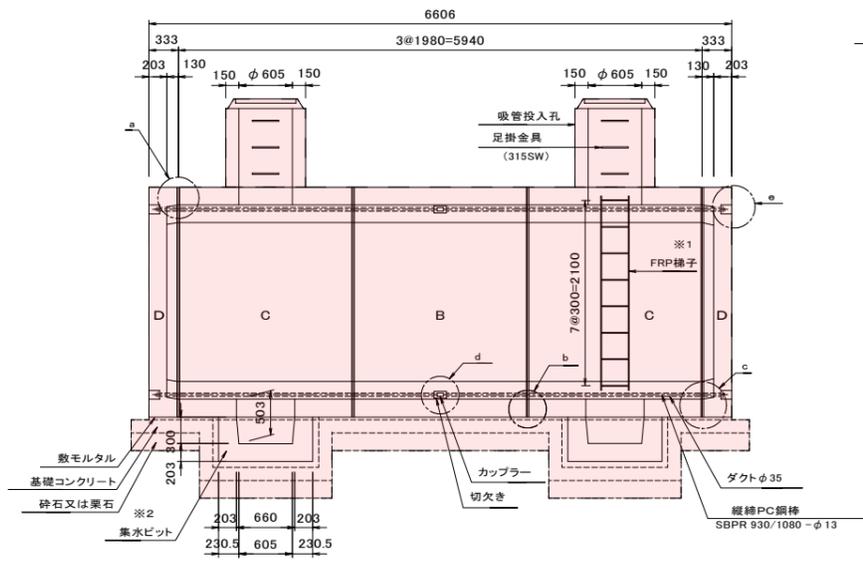
二次製品耐震性貯水槽 40m³ 型 構造図 S=1/40

(参考図)

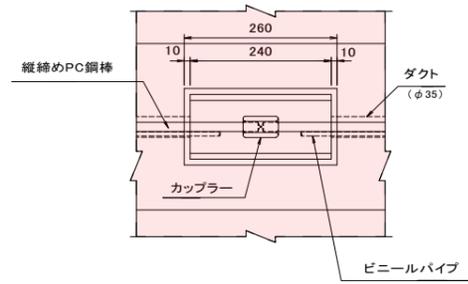
A-A 断面図



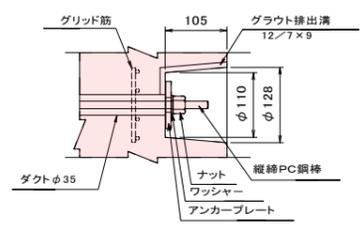
B-B 断面図



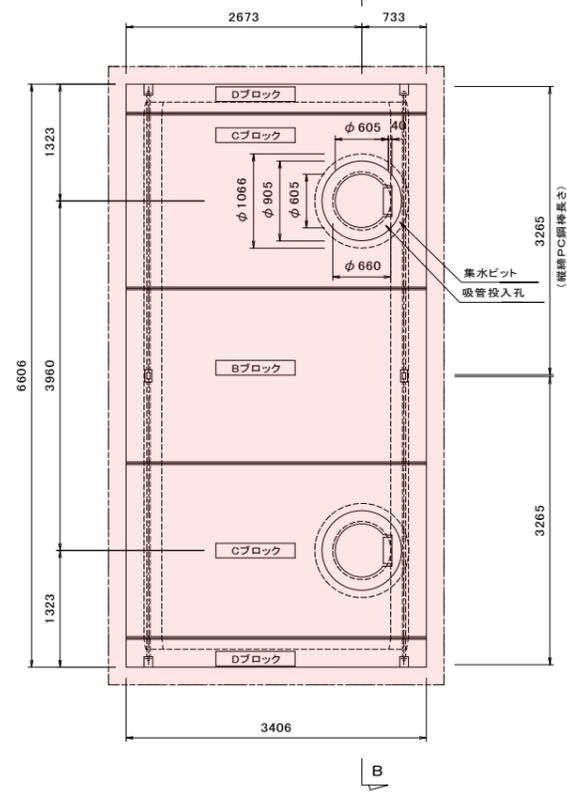
d部詳細図 S=1/6



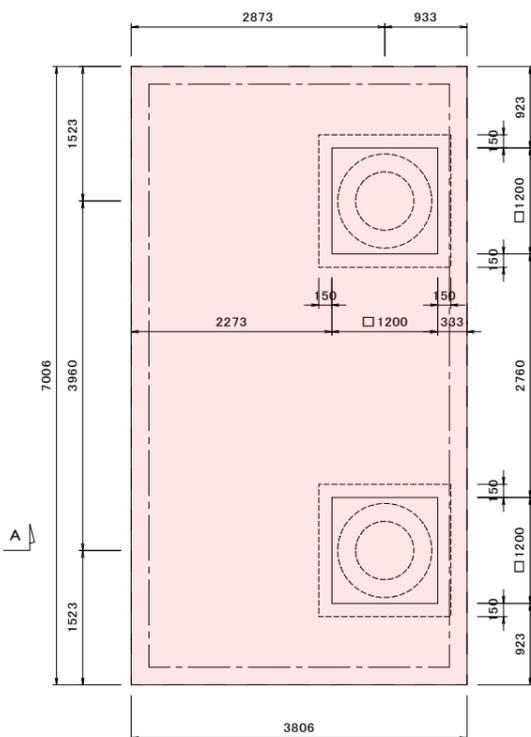
e部詳細図 S=1/6



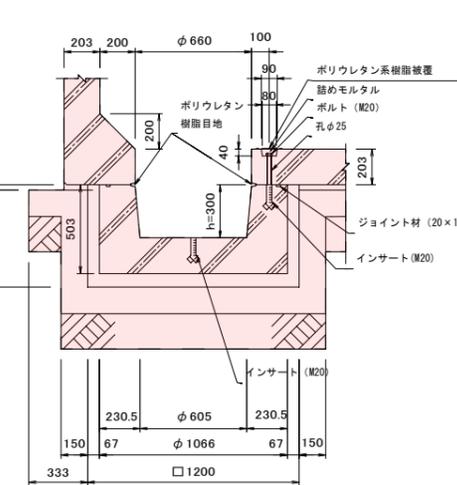
平面図



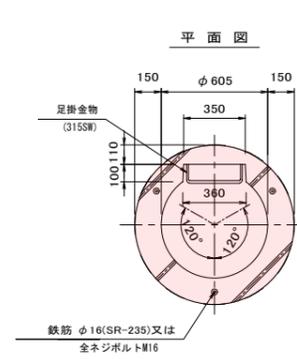
基礎平面図



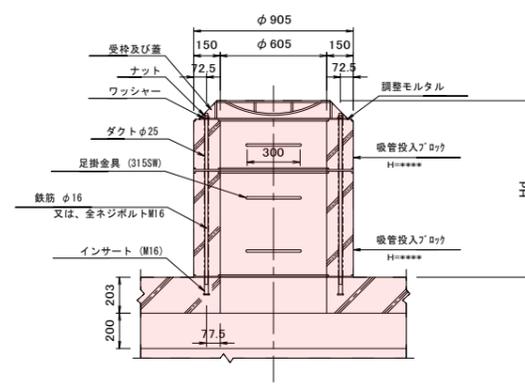
集水ピットブロック S=1/20



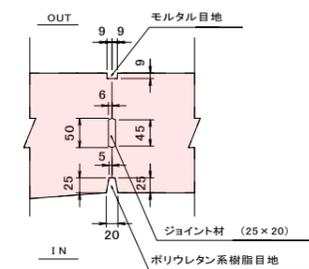
吸管投入孔 S=1/20



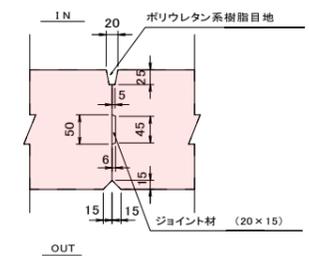
断面図



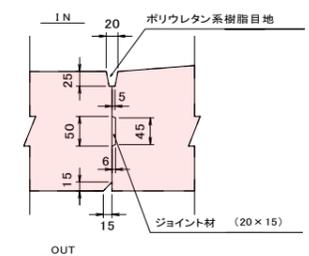
a部詳細図 S=1/6



b部詳細図 S=1/6



c部詳細図 S=1/6



基礎コンクリートについて

水槽の基礎については、基礎地盤の調査を行って地盤の強固な場合は均しコンクリート(無筋コンクリート)を基本とし、地盤が比較的柔らかい(中位のもの)場合、砂質土でN値が5以上10未満、又は粘土質土でN値が5以上8未満であれば、基礎コンクリートを鉄筋コンクリートとする。又、基礎地盤のN値が5未満の場合は検討を要する。

基礎コンクリートを鉄筋コンクリートとする場合は、別途図面による。

(参考) 基礎地盤のN値と基礎コンクリートの関係について

基礎地盤	N 値	基礎コンクリート
砂質土	10以上	均しコンクリート(無筋コンクリート)
	5以上10未満	鉄筋コンクリート
	5未満	検討が必要
粘土質土	8以上	均しコンクリート(無筋コンクリート)
	5以上8未満	鉄筋コンクリート
	5未満	検討が必要

* 鉄筋は、SD295またはSD345を使用する。

二次製品耐震性貯水槽 (40m³) 明細書

型式記号	ASH322C-I型N-0.1/1.0		
	ASH322C-II型N-0.1/1.0		
	ASH322C-III型N-0.4/1.0		
認定番号	耐-00011-1号		
容量	40 m ³		
設置場所	I型(空地用)	II型(道路用)	III型(道路用)
荷重	10 kN/m ²	T-20	T-25
土被り	Hd=0.1~1.0m		Hd=0.4~1.0m
主材料	細目	数量	備考
Bブロック	3000×2200×1980	1個	切欠付
Cブロック	3000×2200×1980	2個	人孔型
Dブロック	3000×2200×333	2個	背面版
吸管投入ブロック	φ605, H=***	*個	
集水ピットブロック	φ660, H=503	2個	
FRP梯子		*個	
縦締めPC鋼棒	SBPR-930/1080-φ13, L=3265	8本	
カッパー	φ13用	4個	縦締め用
定着具	φ13用 カット, ワッシャー, アンカープレート	8組	縦締め用
取付用金具	M20* 鉄, ワッシャー	10組	集水ピット用
受枠及び蓋	φ600	2組	人孔受枠用
取付用金具	鉄筋φ16(引切)又は、全ネジボルト(M16), ナット, ワッシャー	6組	人孔受枠用
縦締めPC鋼棒	φ13 導入力 80kN		

令和7年度 小野藤沢耐震性貯水槽新設工事			
番号	2/3	構造図(参考図)	縮尺 図示
小野藤沢			
辰野町			
町長	課長	照査	設計
辰野町役場			
設計会社	管理技術者		
測量会社	照査技術者		
調査会社	主任技術者		